

令和 3 年度

# 歴史資料館年間報告書

Historical Museum Report



古賀市立歴史資料館

# 目次

I	令和3年度 事業実績一覧	2
II	事業報告	6
	1. 自然史・歴史講座（全4回）	
	2. 展示	
	企画展	
	「中村哲さんと古賀～アフガンへの導き～」	
	特集展示	
	パネル展「中村哲さんと古賀～アフガンへの導き～」	
	パネル展「戦争と暮らし～日常生活の変化に見る戦争の影～」	
	パネル展「古賀に縁のある先人を知る～立花家と薦野増時・米多比鎮久～」	
	船原古墳パネル展	
	「古賀の宝 船原古墳の世界」	
	3. 教育普及	
	歴史資料館れきし体験パスポート	
	子ども歴史講座（全4回）	
	施設見学	
III	来館者数	19
IV	令和4年度 目標及び事業計画	20

## I 令和3年度 事業実績一覧

### 《自然史・歴史講座》

事業名・講師等	開催日	参加者数	内 容〔開催場所〕
第1・2回 船原古墳講座【初級編】 ※第1～3回を計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、回数を減らして実施（第3回は中止）	第1回 7月3日(土) 第2回 7月31日(土)	11人 13人	第1回：船原古墳の価値と古墳時代 第2回：船原古墳の出土品 〔歴史資料館中会議室〕
第4回 【講演会】 「中村哲 人とのつながり 信頼」 講師：前田 志津子氏 （活水女子大学教授）	10月2日(土)	39人	中村哲さんとキリスト教のつながりに ついての講演 〔交流館多目的ホール〕
第5回 【講演会】 「立花宗茂と薦野増時・米多比鎮久」 講師：中野 等氏 （九州大学大学院 比較社会文化研究院教授）	—	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止の ため中止
第6回 自然史・歴史講座 【現地学習】 「『花と龍』の世界をたどる」	令和4年 3月5日(土) 3月19日(土)	34人	河伯洞（北九州市若松区）、中間市民俗 資料館（中間市）、中間唐戸（中間市） などの見学 〔北九州市若松区、中間市〕
自然史・歴史講座 合計			97人

## 《展示》

事業名		期間	観覧者数	内 容〔開催場所〕
企画展 「中村哲さんと古賀 ～アフガンへの導き～」		7月17日(土) ～8月6日(金)	620人	中村哲さんがアフガンと出会うきっかけとなった「昆虫」と「キリスト教」のうち、「昆虫」との出会いに関してパネルで紹介 〔歴史資料館ギャラリー〕
特集展示	パネル展 「中村哲さんと古賀 ～アフガンへの導き～」	10月2日(土) ～30日(土)、 11月30日(火) ～ 12月5日(日)	600人	中村哲さんがアフガンと出会うきっかけとなった「昆虫」と「キリスト教」のうち、「昆虫」との出会いに関してパネルで紹介 〔歴史資料館ギャラリー〕
	パネル展 「戦争と暮らし ～日常生活の変化に見る戦争の影～」	12月7日(火) ～12日(日)、 12月21日(火) ～26日(日)	162人	戦争の長期化に伴い変化した人々の暮らしについて、9つの側面（お金、物資の配給、物資の供出、動物、子ども、防空演習、動員、食糧、思い）からパネルと資料の展示で紹介 〔歴史資料館ギャラリー〕
	パネル展 「古賀に縁のある先人を知る～立花家と薦野増時・米多比鎮久～」	11月14日(日) ～24日(水)、 令和4年 3月1日(火) ～16日(水)	388人	古賀に縁のある二人の武将「薦野増時」「米多比鎮久」と立花家の「戸次道雪」「立花宗茂」二代との関わりを中心にパネルで紹介
船原古墳パネル展 「古賀の宝 船原古墳の世界」		6月22日(火) ～ 7月11日(日)	588人	初心者向けの船原古墳紹介パネル展示 〔歴史資料館ギャラリー〕
		10月8日(金) ～22日(金)	—	船原古墳PRのためのパネル展示 〔市役所市民ホール〕
		令和4年 2月7日(月) ～13日(日)	—	船原古墳PRのためのパネル展示 〔アクロス福岡コミュニケーションエリア〕
出張 歴史資料館	健康福祉まつり まつり古賀	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
展示 合計		2,358人		

## 《教育普及》

事業名	開催日・期間	参加者数	内 容〔開催場所〕
夏休みれきし体験パスポート	7月20日(火) ～8月6日(金)	171人	小中学生を対象とした体験型学習で、 歴史資料館展示物に関するクイズを通して、 古賀の郷土歴史を学ぶ 〔歴史資料館展示室〕
冬休みれきし体験パスポート	12月24日(金) ～令和4年 1月10日(月・祝)	47人	
春休みれきし体験パスポート	令和4年 3月24日(木) ～4月5日(火)	43人	
れきし体験パスポート 合計			261人

事業名・講師等	開催日	参加者数	内 容〔開催場所〕
第1回 子ども歴史講座 「杏葉づくり」、「勾玉づくり」	5月1日(土)	12人	・杏葉の講義及び石膏で杏葉づくり ・勾玉の講義及び滑石で勾玉づくり 〔歴史資料館中会議室〕
第2回 子ども歴史講座 「杏葉づくり」、「勾玉づくり」	7月21日(水) 7月22日(木)	31人	・杏葉の講義及び石膏で杏葉づくり ・勾玉の講義及び滑石で勾玉づくり 〔歴史資料館中会議室〕
第3回 子ども歴史講座 「縄文土器をつくろう」 講師：香川 義文氏 (古賀市陶芸同好会代表)	10月16日(土)	10人	土器や焼き物の講義及び輪積み法で縄 文土器づくり 〔交流館 102 工芸室〕
第4回 子ども歴史講座 「古代食ってなあに？」	11月20日(土)	9人	古代食の講義及びどんぐりの粉を使っ たクッキー等づくり 〔交流館 101 調理室〕
子ども歴史講座 合計			62人(小学生60人、未就学児2人)

事業名	開催日	参加者数	内 容
ナイトミュージアム&ライブラリー	12月4日(土)	23人	閉館後の歴史資料館・図書館を探検 〔図書館、歴史資料館展示室、中会議 室、ギャラリーの一部〕

## ■歴史資料館利用実績一覧

事前申込みで、学校の施設見学・教科学習や一般団体の生涯学習で歴史資料館見学の対応を行った。

	月	団体名	見学者数	内容
1	6月	小野小学校6年生	89人	社会科見学（歴史の学習）、図書館見学（国語の学習）
2	7月	花見小学校6年生	96人	社会科見学（歴史の学習）
3	11月	くすのき会	16人	船原古墳の出土品見学
4	2月	花鶴小学校3年生	117人	社会科見学「市の様子と人々の暮らしのうつりかわり」
5		花見小学校3年生（※）	—	社会科見学「市の様子と人々の暮らしのうつりかわり」
6	3月	株式会社国際交流サービス	21人	船原古墳の出土品見学
7		宗像歩こう会	8人	古賀市の歴史
8		舞の里小学校3年生（※）	—	社会科見学「市の様子と人々の暮らしのうつりかわり」
見学者 合計			347人	

（※）・・・新型コロナウイルス感染症予防対策として、見学用DVDで対応

## 《刊行物》

- ・れきしのアルバムNo.45「大般若波羅蜜多経」を作成し、ホームページに掲載した。
- ・古賀市郷土読本「わたしたちのこが～“ふるさと”古賀を知るガイド～」を作成し、発行した。
- ・古賀市立歴史資料館ライブラリー第1集「戦争と暮らし～庶民から見た戦争～」を作成し、発行した。

## 《所蔵資料整理業務》

- ・「青柳耕地図」について、後世継承のためデジタル化を行った。

## 《資料収集整理活動》

- ・令和3年度の寄贈は3件で、全11点及び古文書類

	内容	点数
1	揮毫帖	1点
2	尋常小学修身書 ほか（本類）	6点
3	リール式テープレコーダー、取扱説明書 ほか	4点
4	三輪閑水氏アルバム、戦傷奉公杖	2点

- ・このほか、中村哲さんの同級生などに話を聞いて、記録に残した。

## II 事業報告

### 1. 自然史・歴史講座（全4回）

#### ■第1・2回 自然史・歴史講座

事業名：船原古墳講座【初級編】

開催日時：【第1回】令和3年7月 3日（土）14:00~16:00

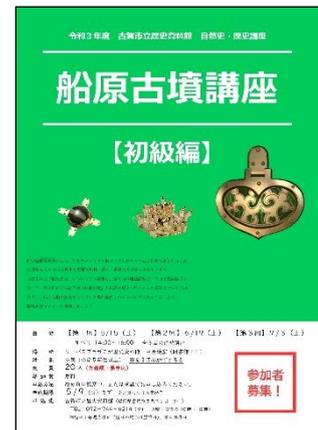
【第2回】令和3年7月31日（土）10:00~12:00

会場：歴史資料館 中会議室

参加者数：【第1回】11人

【第2回】13人 計 24人

※新型コロナウイルス感染症の影響により、第1~3回を第1・2回に減らして開催（第3回を中止）



古賀市唯一の国史跡船原古墳についての講座を開催した。

第1回の前半は、船原古墳の価値と古墳時代についての講義を行った。古賀市内ではじめて確認された前方後円墳であることや貴重な馬具が発見されたことなど、船原古墳の価値について改めて学習した。また古墳時代について、時代区分や形・大きさ、埋葬施設や埴輪などの古墳に付属する要素について解説した。

後半、船原古墳については、前半の講義の内容と関連させながら写真や実測図を用いて説明した。講座の最後には、歴史資料館で開催していた「歴史解明！船原古墳展」を見学した。

第2回は、船原古墳から出土した遺物を中心に説明した。土坑や見つかった遺物の数、特に1号土坑から出土した馬具とその調査方法を詳しく解説した。馬具の解説では、写真やCG画像、解説シートを活用してわかりやすく説明した。



第1回 講義



第1回 歴史資料館見学



第2回 講義

## ■第4回 自然史・歴史講座【講演会】

演 題：「中村哲 人とのつながり 信頼」

開 催 日：令和3年10月2日（土）14:00~16:00

会 場：交流館多目的ホール

講 師：前田 志津子氏（活水女子大学教授）

参加者数：39人



企画展「中村哲さんと古賀～アフガンへの導き～」に関連した講演会で、活水女子大学教授の前田志津子氏を講師にお招きし、中村哲さんとキリスト教のつながりについて講演していただいた。

はじめに、中村哲さんと香住ヶ丘バプテスト教会のつながりについてお話しいただいた。教会にあった幼稚園「ひかりのこ」での中村哲さんの様子から、優しさのある方だと前田氏は話された。

次に、中村哲さんが医者を目指した理由について、昆虫に興味があり、農学部を目指していたが、岩村昇医者やシュヴァイツァー博士の話をもとに藤井牧師より聞いて、医師として海外へ行くことを決断したと説明いただいた。医師として、ベシャワール、その後アフガニスタンへと赴任したが、サンダル製造工場長や井戸掘りの司令官、土木設計工事者など、専門以外の働きを恐れずに担ったことについて、神に遣わされた地で人々の健康を支えるため「どんなことでもする」との精神の現れであると前田氏は話された。

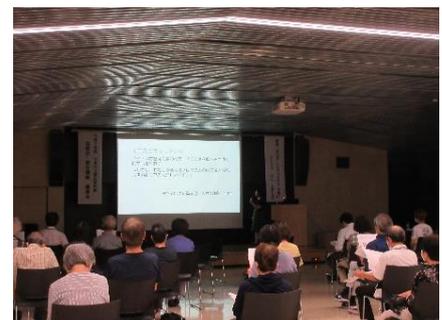
最後に、中村哲さんと古賀のつながりを、古賀小学校と古賀西小学校、古賀村にあった活水女園（児童養護施設）を例にあげて解説いただいた。またキリスト教とは、中村哲さんの人生そのものと言えるまとめられた。



講師紹介



あいさつ



講演の様子

## ■第5回 自然史・歴史講座【講演会】

演 題：「立花宗茂と薦野増時・米多比鎮久」

講 師：中野 等氏（九州大学大学院比較社会文化研究院教授）

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止

## ■第6回 自然史・歴史講座【現地学習】

タイトル：「『花と龍』の世界をたどる」

開催日：令和4年3月5日（土）、19日（土）9:00~17:15 ※応募者多数のため、急遽2回実施

見学先：河伯洞（北九州若松区）、中間市民俗資料館（中間市）、中間唐戸（中間市）等

参加者数：34人（5日：20人、19日：14人）

中村哲さんの伯父火野葦平の代表作である、玉井金五郎とマン夫妻を主人公とする小説『花と龍』の舞台となった旧若松市を訪ね、中村哲さんの人間性形成に大きな影響を与えた玉井家・中村家の雰囲気を知るとともに、石炭輸送を担った堀川について、中間市を訪問して当時の様子を学んだ。

『花と龍』に出てくる場所を徒歩で巡り、場所や小説の場面について参加者に説明した。その後、北九州市指定文化財である火野葦平旧居「河伯洞」を見学した。案内人の方より、河伯洞と火野葦平についての説明をしていただいた後、自由見学を行った。火野葦平が河童をこよなく愛したことから河伯洞（河童の住む家）と名付けられたことや建物に使われている木材が貴重なものであることなど教えていただいた。河伯洞見学後は昼食のため、白山神社、佐藤公園を經由し、高塔山公園へ向かった。

午後は、中間市民俗資料館の学芸員の方のご案内で、「堀川」と「中間唐戸」について館内見学を行った。堀川が開削された目的や方法、工事にかかった年月について説明をしていただいた。また館内に展示してある中間唐戸の模型を用いて水門の仕組みについて詳しく解説をしていただいた。その後、中間唐戸、堀川の順で現地を巡った。

帰りは「寿命（じめ）唐戸」を經由した。歴史資料館長より、中間唐戸と同じ仕組みであることや遠賀川からの取水口を上流に設けるために作られた水門であることを説明していただいた。



見学の様子

## 2. 展示

### ■企画展

タイトル：「中村哲さんと古賀～アフガンへの導き～」

会 期：令和3年7月17日（土）～8月6日（金） 18日間

会 場：歴史資料館ギャラリー

観覧者数：620人

※小・中学校の夏季休業期間中にあわせて開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により8月7日（土）から休館



令和元年12月に中村哲さんが凶弾に倒れた後、彼が成し遂げたこと、成そうとしたことを紹介し、彼の死を悼むことはさまざまな機関やメディアでなされた。

令和3年度は、中村哲さんの生誕75年にあたることから、当館では、中村哲さんがアフガニスタンと出会うきっかけとなった「昆虫」と「キリスト教」のうち、「昆虫」との出会いに関して、ゆかりのある方々への聞き取りをもとに掘り下げ、企画展を開催した。

#### 【1. 誕生、そして若松へ ～人間形成の原点～】

中村哲さんの誕生と家族について紹介した。中村哲さんが2歳のときに母の実家である若松に引っ越し、幼少期をそこで過ごしたことから、中村哲さんの人間観の基本に若松時代があったこと、祖父母や伯父の影響を受けたことを説明した。若松では、祖父金五郎がつくった石炭の積み込みを請け負う「玉井組」や中村哲さんが通った幼稚園・小学校を紹介した。



#### 【2. 豊潤の古賀時代 ～アフガンへ導いたもの～】

中村哲さんが過ごした古賀に焦点を当て、パネルで紹介した。

中村哲さんの同級生から、中村哲さんが幼少期に住んでいた「ひかり荘」について聞き取りを行い、間取図をパネルに掲載した。また昆虫採集や山へ親しむきっかけとなった吉川鷹助さんとの出会いや小学校での様子、キリスト教と出会う中学校時代、医師を志す高校時代及び精神医学を専攻する大学時代についても聞き取りを行い、パネルで紹介した。



### 【3. ペシャワールとの出会い】

中村哲さんとパキスタンのペシャワールとのつながりについて紹介した。

大学卒業後、パキスタン・アフガニスタンへの支援につながるまでの経緯を説明した。



### 【4. 中村哲さんが成したこと（1984～2019）】

1984年のペシャワール赴任から2019年に亡くなるまでの35年間、中村哲さんが活動したことをパネルで紹介した。中村哲さんの支援団体であるペシャワール会より、中村哲さんの活動の様子を撮影した写真やアフガニスタンの衣類、ハンセン病患者用の靴・サンダルを借用して展示した。また、中村哲さんが使用した五右衛門風呂もあわせて展示した。



### 【5. 託される思い】

古賀市からは名誉市民の称号、天台宗からは天台宗特別振興賞が贈られたことを紹介した。また、中村哲さんが亡くなった後のアフガニスタンについて、写真パネルを展示した。



## ■特集展示

### ◆パネル展

タイトル：「中村哲さんと古賀～アフガンへの導き～」

会 期：令和3年10月2日（土）～30日（日）、  
11月30日（火）～12月5日（土）

会 場：歴史資料館ギャラリー

観覧者数：600人（10月2日～30日：465人、11月30日～12月5日：135人）

※新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言で延期とした講演会「中村哲 人とのつながり 信頼」と中村哲さんの命日にあわせて、企画展と同様の内容で開催した。

### ◆パネル展

タイトル：「戦争とくらし～日常生活の変化に見る戦争の影～」

会 期：令和3年12月7日（火）～12日（日） 6日間  
12月21日（火）～26日（日） 6日間

会 場：歴史資料館ギャラリー

観覧者数：162人（12月7日～12日：94人、21日～26日：68人）

令和2年度実施した企画展「戦争とくらし～庶民からみた戦争～」を受けて、平和を願い、その意識を継承していくために、毎年12月8日の太平洋戦争の開戦日の時期にあわせて開催する。



戦争の長期化に伴い変化した人々のくらしについて、9つの側面（お金、物資の配給、物資の供出、動物、子ども、防空演習、動員、食糧、思い）から解説した。

戦争に必要な莫大な資金は、赤字国債や寄付金などで国民から集められたことや、生活に必要なものは配給制となり、寺社や各家庭にある金属は政府に差し出すことをしいられたことなどを寄贈いただいた資料とあわせて説明した。また戦争の長期化に伴い、物資だけでなく食糧も不足し、国民の生活に大きな影響を及ぼしたと説明した。

展示ケースには、資金を集めるための子ども向けの広告や各家庭の金属保有状況を調査した綴り、離れ離れになった家族へ送った手紙など、数多くの資料を展示した。



### ◆パネル展

タイトル：「古賀に縁のある先人を知る～立花家と薦野増時・米多比鎮久～」

会 期：令和3年11月14日（日）～24日（水） 9日間

令和4年3月1日（火）～16日（水） 14日間

会 場：歴史資料館ギャラリー

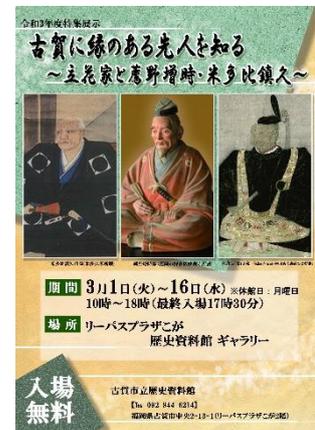
観覧者数：388人（11月14日～24日：199人、令和4年3月1日～16日：189人）

古賀に縁のある武将「薦野増時」「米多比鎮久」と立花家の「戸次道雪」「立羽宗茂」二代との関わりを中心にパネルで紹介した。

戸次系立花家の人々の紹介では、戸次道雪、道雪の側室の色姫、道雪の子の闇千代、闇千代の夫の立花宗茂について、出生地や家族、生立ちなどをまとめた。

薦野増時、米多比鎮久の紹介では、薦野家と米多比家の各一族の立場から説明し、続いて薦野増時と米多比鎮久の立花家との関わりについて紹介した。

最後に立花家を支えた家臣の中から、立花宗茂と加藤清正に信頼された武将である小野鎮幸と、立花家に信頼された忠臣である由布惟信について紹介した。



## ■船原古墳パネル展

タイトル：「古賀の宝 船原古墳の世界」

会期,会場：【歴史資料館ギャラリー】令和3年6月22日(火)～7月11日(日)

【市役所市民ホール】令和3年10月8日(金)～22日(金)

【アクロス福岡コミュニケーションエリア】令和4年2月7日(月)～13日(日)

観覧者数：【歴史資料館ギャラリー】588人

船原古墳の周知活動の一環として、初心者向けの船原古墳及び1号土坑から出土した馬具などを紹介するパネルを展示した。また、発掘時の様子の写真などをあわせて展示した。

歴史資料館ギャラリーでは、動画の放映を行った。



歴史資料館ギャラリー



市役所市民ホール



アクロス福岡  
コミュニケーションエリア

### 3. 教育普及

#### ■れきし体験パスポート

歴史資料館に親しんでもらい、郷土の歴史を楽しみながら学んでもらうことを目的として、春休み・夏休み・冬休みの学校長期休業中、小中学生を対象に、歴史資料館展示室内で展示に関するクイズに挑戦するイベントを行った。

#### ◆夏休みれきし体験パスポート

期 間：令和3年7月20日(火)～8月6日(金)

参加者数：171人

内 容：展示物に関するクイズラリー

※小・中学校の夏季休業期間中にあわせて開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により8月7日(土)から休館

#### ◆冬休みれきし体験パスポート

期 間：令和3年12月24日(金)～令和4年1月10日(月・祝)

参加者数：47人

内 容：展示物に関するクイズラリー

#### ◆春休みれきし体験パスポート

期 間：令和4年3月24日(木)～4月5日(火)

参加者数：43人

内 容：展示物に関するクイズラリー

#### ■子ども歴史講座(全4回)

##### ◆第1回 ①「杏葉づくり」、②「勾玉づくり」

開 催 日：令和3年5月1日(土)

会 場：歴史資料館中会議室

参加者数：①小学生8人、②小学生4人 計12人

##### ◆第2回 ①③「杏葉づくり」、②④「勾玉づくり」

開 催 日：令和3年7月21日(水)、22日(木)

会 場：歴史資料館中会議室

参加者数：①小学生6人、②小学生10人、  
③小学生8人、④小学生5人(+未就学児2人) 計31人

### 「杏葉づくり」

船原古墳1号土坑から出土した鳳凰文心葉形杏葉の模型づくりと着色体験を行った。絵の具を溶かした水と石膏を混ぜて杏葉のシリコン型に流し込み、杏葉の模型を作った。

石膏が固まるまでの間、歴史資料館長が古賀市の歴史と船原古墳についての講義を行った。市内の遺跡や船原古墳の基本情報について話したあと、船原古墳から出土した馬具の種類や用途を説明した。特に鳳凰文心葉形杏葉の特徴や構造を説明し、次の作業で行う杏葉の着色に対する理解につなげた。

講義後、職員が事前に作成しておいた真っ白な杏葉の模型に絵の具で着色した。実物の構造を意識して3色塗分ける人が多く、自分だけの杏葉を完成させることができていた。



杏葉づくり

### 「勾玉づくり」

歴史資料館長が勾玉の用途や種類などについて、土偶や埴輪の画像を用いて説明した。当館展示室にある勾玉もあわせて紹介した。様々な形や素材があり、参加者は興味を示していた。

体験活動では、最初に作り方の動画を見て、作業に取り組んだ。鉛筆で滑石に下書きをして、一番荒いサンドペーパーで下書きの線まで滑石を削った。その後、もう一つのサンドペーパーで表面がなめらかになるまで削り、最後に仕上げ用のペーパーで磨いた後、職員が染料（赤・黄・青・緑）で参加者がつくった勾玉を着色した。



勾玉づくり

### ◆第3回「縄文土器をつくろう」

開催日：令和3年10月16日（土）

会場：交流館102工芸室

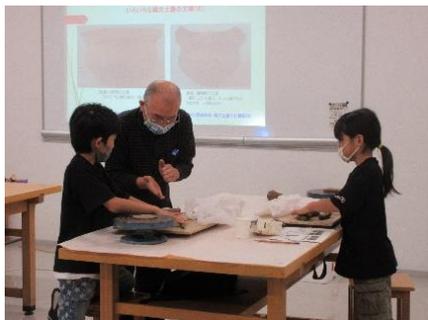
講師：かがわ香川 よしふみ義文氏（古賀市陶芸同好会代表）

参加者数：小学生10人

歴史資料館長が焼き物と土器についての講義を行った。土器と陶磁器の違いや焼き方、土器のつくられた時代・地域ごとの特徴について解説した。あわせて、縄文土器の文様の種類やつくり方を説明した。

体験活動では、古賀市陶芸同好会代表の香川義文氏に指導していただき、輪積み法で土器づくりを行った。参加者は好きな文様を描き、オリジナルの土器を完成させた。

土器づくりを終えた参加者から順番に、当館で育てた黒米と石包丁（レプリカ）を使って、稲刈りを体験した。土器は後日窯で焼いて、参加者に渡した。



土器づくり



稲刈り体験

#### ◆第4回「古代食ってなあに？」

開催日：令和3年11月20日（土）

会場：交流館101調理室

参加者数：小学生9人

歴史資料館長が、縄文・弥生時代の人々の食べものや食べものの入手方法についての講義を行った。

体験活動では、どんぐりの粉を使ったクッキーづくりと、白米と赤米を混ぜたご飯でおにぎりをにぎった。

クッキーが焼きあがるまでの間、石器を使ってどんぐりの殻むき・すりつぶし体験と古代米のもみすり・稲刈り体験を行った。その後、外で千歯こき体験をした。



クッキーづくり



クッキーづくり



どんぐりの殻むき・すりつぶし体験



古代米のもみすり・稲刈り体験

## ■ナイトミュージアム&ライブラリー

開催日：令和3年12月4日（土）

会場：図書館、歴史資料館展示室、中会議室、ギャラリーの一部

参加者数：23人（9組）※保護者や就学前の子ども含む

歴史好きのイタズラおぼけに乗っ取られてしまった夜の図書館と歴史資料館から脱出するゲームを実施した。班ごとに分かれた参加者は懐中電灯を片手に、真っ暗な館内を進みながらおぼけがだす様々なミッションに挑戦した。

### 【歴史資料館ミッション】

館内の展示物に関するクイズやじゃんけん、資料館内に隠された物を探すミッションに挑戦した。

### 【図書館ミッション】

指定された4冊の絵本を、絵本コーナーから探し出すミッション、絵本の頭文字から暗号を読み解くミッションに挑戦した。

### 【最終ミッション】

各ミッションをクリアして手に入れた馬具カードを、馬の絵の正しい位置に貼るミッションを行った。近くにヒントカードを置き、答えにたどり着けるようにした。

いつもと違う雰囲気緊張しながらも、班のみんなと協力して見事全てのミッションをクリアし、全員脱出することができた。最後は、お土産を受けとり、フォトコーナーで記念撮影をして、満足げに帰っていった。



歴史資料館ミッション



図書館ミッション



最終ミッション

## ■施設見学

歴史資料館では子どもたちの教育普及や一般向けの生涯学習の一環として、事前申込みで施設見学を受け入れている。館内は市内から発掘された出土品の展示や郷土の歴史の紹介、昔の暮らしを知ることができる古民具等を配置し、分かりやすい解説と展示を心がけて子どもたちの学びに力を入れている。

学校の教科学習の見学では、学校と学習のねらいやスケジュール等を事前に打ち合わせして、見学を進めている。机上で学ぶより、実物を見ながら歴史資料館職員の説明を受けることで、日頃とは違う学びが提供できている。

また、古賀市の宝である国史跡船原古墳について、市内外の方により深く知ってもらえるように解説等を行っている。



見学用 DVD で授業している様子

### Ⅲ 来館者数

#### 令和3年度 開館日数及び来館者数

月	開館日数	来館者数
4月	25日	334人
5月	9日	126人
6月	8日	262人
7月	27日	933人
8月	5日	108人
9月	11日	86人
10月	26日	389人
11月	24日	771人
12月	22日	396人
1月	21日	361人
2月	23日	449人
3月	26日	498人
合計	227日	4,713人
月平均	19日	393人
日平均		21人

※5月12日～6月20日、8月7日～9月16日の期間、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためリーパ  
スプラザこが全館一時休館。

#### 【過去3年間の日平均来館者数】

年 度	日平均来館者数
平成30年度	35人
令和元年度	30人
令和2年度	23人

## IV 令和4年度目標及び事業計画

■目標 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、変更となる場合があります。

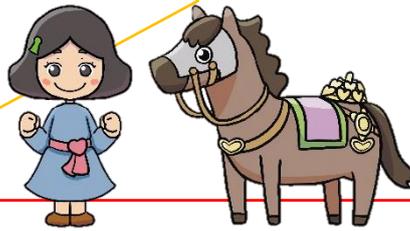
- (1) 郷土古賀の歴史を学習する「自然史・歴史講座」を開催し、講演会、施設見学及び史跡等に出向いての現地学習などを行い、参加者の自然史・歴史、郷土の偉人への興味を高めるとともに、古賀のよさを知ってもらう機会とする。
- (2) 小中学生を対象に「子ども歴史講座」を実施し、体験や講義を通じて、大昔の人々の生活や郷土の文化財を学習する機会を提供する。
- (3) 船原古墳に特化した人材を育成する目的で、初心者向けの船原古墳講座を開講する。
- (4) 国史跡船原古墳に関して、古賀市ホームページやフェイスブック、パネル展示などを実施し、市内外への情報発信に努める。
- (5) 鹿部山発掘50年を記念し、鹿部山の発掘調査の成果や鹿部の変容を振り返ることで、ふるさと「古賀」への関心を高める。
- (6) 市内で開催されるイベントに「出張歴史資料館」を出展し、分かりやすく郷土の歴史を発信する。
- (7) 郷土の戦国武将である薦野増時について紹介することで、郷土愛の醸成を図る。
- (8) 古文書、民具、昔の写真など郷土に関わる資料の収集を行うとともに、地域の高齢者から昔の生活の様子などの聞き取りを行い、それらの整理・保存に努める。
- (9) れきしのアルバム No.46「旦ノ原の井戸と顕彰碑」のデータを作成し、ホームページに掲載する。

■事業計画 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、変更・中止となる場合があります。

《自然史歴史講座・展示・教育普及》

事業名	開催予定日	内容	開催予定場所
船原古墳パネル展 「古賀の宝 船原古墳の世界」	4月21日(木) ～5月15日(日)	初心者向けの船原古墳紹介パネル 展示	歴史資料館 ギャラリー
第1回 子ども歴史講座	5月7日(土) ①10:00～12:00 ②14:00～16:00	①杏葉づくり ②勾玉づくり	歴史資料館 中会議室
第1～3回 自然史・歴史講座 「船原古墳講座【初級編】」	①5月28日(土) ②6月18日(土) ③7月2日(土)	①船原古墳の価値と古墳時代 ②船原古墳出土品 ③ミニ・シンポジウム	歴史資料館 中会議室
企画展 「鹿部山発掘50年」展	7月16日(土) ～8月28日(日)	鹿部山とその周辺の遺跡発掘調査 の成果を、パネル掲示と出土品展 示で振り返る	歴史資料館 ギャラリー・ 展示室
夏休みれきし体験パスポート	7月16日(土) ～8月21日(日)	歴史に関するクイズラリーなど	歴史資料館
第2回 子ども歴史講座	7月21日(木) ①10:00～12:00 ②14:00～16:00 7月22日(金) ③10:00～12:00 ④14:00～16:00	①④杏葉づくり ②③勾玉づくり	歴史資料館 中会議室
第4回 自然史・歴史講座【講演会】	8月7日(日) 14:00～16:00	講師：木村幾多郎さん (元大分市立歴史資料館長) 鹿部山発掘当時の様子や思い出話 などについてご講演いただく	交流館 多目的ホール
第3回 子ども歴史講座	9月23日(金・祝)	市内の遺跡をバスでめぐる (船原古墳、古賀グリーンパー ク、みあけ史跡公園 など)	古賀市内
第5回 自然史・歴史講座 「歴史資料館長と歩く鹿部山発掘の歴史 (仮題)」 ※生涯学習推進課との協同事業	10月1日(土) 9:00～11:30 予定	鹿部山発掘の歴史を歩いてめぐる (古賀神社、日吉神社、鹿部田淵 遺跡、皇石神社 ほか)	古賀市内
第4回 子ども歴史講座	10月	縄文土器づくり	交流館工芸室
第5回 子ども歴史講座	11月	古代食体験	交流館調理室
ミニギャラリー展 「戦争とくらし(仮題)」	12月1日(木) ～11日(日)	戦時資料などを展示・紹介	歴史資料館 ギャラリー
ナイトミュージアム&ライブラリー	12月	閉館後の歴史資料館・図書館を探検	図書館 歴史資料館
冬休みれきし体験パスポート	12月～1月	歴史に関するクイズラリー	歴史資料館
パネル展 「薦野増時(仮題)」	3月1日(水) ～19日(日)	古賀の武将、薦野増時についての 紹介	歴史資料館 ギャラリー
第6回 自然史・歴史講座【現地学習】 「氏貞・色姫兄妹の旧跡巡り(仮題)」	令和4年3月	古賀市、宗像市をめぐる	古賀市、 宗像市
春休みれきし体験パスポート	3月～4月	歴史に関するクイズラリーなど	歴史資料館

船原古墳 PR 公式キャラクター



ふなこさん

ハルコフ

令和3年度 歴史資料館年間報告書

令和4年7月発行  
〒811-3103 福岡県古賀市中央二丁目13番1号

**古賀市立歴史資料館**

TEL : 092 (944) 6214  
FAX : 092 (944) 6215